

サイバー空間の脅威の情勢:極めて深刻

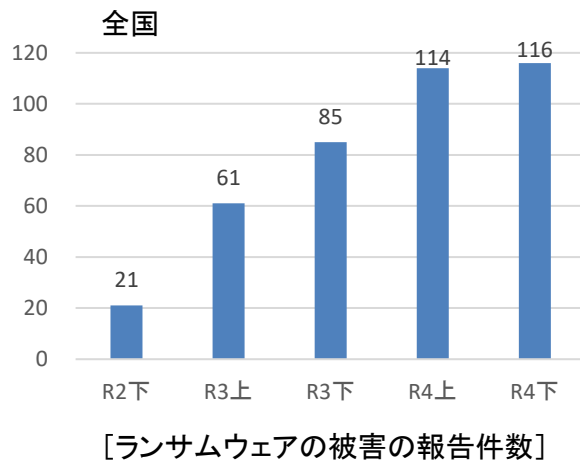
① ランサムウェアの感染被害が拡大

〔情勢〕

- ・ 令和2年下半期以降、右肩上がり増加中
- ・ VPN機器等からの侵入が多数
- ・ 企業・団体等の規模や業種を問わず広範に発生
- ・ 復旧に2か月以上の期間や5,000万円以上を要した被害も発生

〔対策〕

- ・ 機器等の脆弱性対策(パッチ等の適用)
- ・ バックアップデータをオフラインで保管



② インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加

〔情勢〕

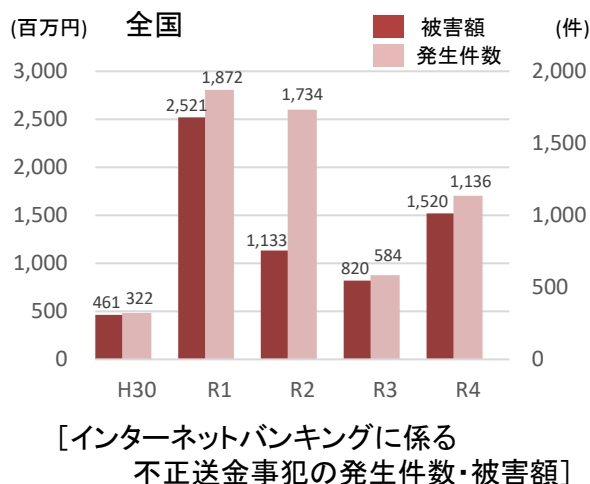
- ・ 発生件数、被害額が前年より増加
- ・ 被害の多くがフィッシングによるもの

〔対策(個人向け)〕

- ・ OS、ソフトウェア等の更新
- ・ ワンタイムパスワード等の活用
- ・ メール等のリンクは安易にクリックしない

〔対策(企業向け)〕

- ・ DMARC(※)の導入
- ※ なりすましメール対策技術



③ 我が国に対するサイバー攻撃が相次いで判明

北朝鮮のサイバー攻撃グループによる国内の暗号資産関連事業者に対するサイバー攻撃や学術関係者・シンクタンク研究員等に対する標的型メールによるサイバー攻撃が発生

『令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の情勢』

https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/data/R04_cyber_jousei.pdf

